

# みの〜れ10歳記念ムービー、4月7日お披露目!!

## 自分の強みを活かして地域を元気に!

立原さんは高校生のときに映画製作に興味を持ち、東京の大学に進学して映像について学び、自主演映会の製作も行った。卒業後は東京で映画やドラマの製作に携わりたかったが、長男という立場から実家に戻り、水戸市内にある映像製作会社に6年ほど勤務した。2年ほど前に小美玉市役所本庁舎近くに『リンクムービースタジオ』という事務所を構えた。「映像の編集をしたり、PRビデオの台本を書いたりで確実に何時に終わるという時間が定められた仕事ではありません。3時間で終わってしまうかもしれないし、1日かかってもし終わらないかもしれない。けれども、完成したときの喜びが大きいのでやりがいのある仕事です。県内だけでなく県外にも出向い



みの〜れ10歳記念事業 ムービーチームメンバー  
**立原 裕之**さん

「また来たいと思える場所、みの〜れに自分の力を活かしてより元気な館にしたい」と語る立原さん。

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ No.55

健やかに新しい年をお迎えのことと思います。本年も宜しくお願いいたします。昨年は天災と人災による被害の多い年でした。日にち薬という言葉がありすが、時間が少しずつ私たちを元気にしてくれました。今年は小さな幸せが沢山降りる素晴らしい年になりますように。ロウバイは可愛らしい黄色の花と甘い香りで初春の便りを届けてくれました。さあ、元気を出して龍に負けないように上昇の年にしましょう。みの〜れは今年で10歳。現在、記念事業に向けて着々と準備が進められている。今回は記念事業のひとつである10歳記念ムービーの製作を担当している柴高地区にお住まいの立原裕之さん取材する。

ていまずと話す。みの〜れ10歳記念ムービーチームは約10名で成り立つ。「みの〜れの職員さんから声をかけて頂き、この企画に携わるまではみの〜れとの関わりは全く無かったが、今は週1回くらいのペースで足を運ぶようになった。みの〜れに来るようになって半年ほど経ちますが、色々な人と知り合いになれて良かったです」と言う。このムービーには、とびつきりステキな笑顔の写真などがふんだんにちりばめられており、4月7日に開催予定の『小美玉さくらフェスティバル』で皆さんにお披露目される。暖かな陽気に誘われてみの〜れに足を運び、桜の花を愛でながらステキな笑顔に会えたら何倍も『小美玉さくらフェスティバル』が楽しくなりそうです。また、「みの〜れに関わるようになって感じたのは、スタッフやボランティアの方々

がみんな『仲間』という感じがして親しみやすいこと。また来たいと思うような場所です」と話してくれた。「ひとつひとつ良い品質の作品を作っていきたい。そして、もっとスキルアップして地元である小美玉市やみの〜れに自分の力を活かしたい。また、映像を作るワークショップもいつかやってみたい。もし映像に興味がある方がいらつしやいましたら、みの〜れの喫茶スペースや四季の里芝生広場でたくさんお話をしましよ」と今後の夢についても語ってくれた。

笑顔の写真はまだまだ募集中。立原さんにカメラを向けられたら、ぜひご自慢の笑顔をプレゼントして下さい。さくらフェスティバルで抱えきれないほどの笑顔に逢えることを楽しみにしています。

(藤田 佐知子)